

香川高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語 I A
科目基礎情報						
科目番号	191023			科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気情報工学科 (2019年度以降入学者)			対象学年	1	
開設期	通年			週時間数	2	
教科書/教材	Step by Step 4Skills 1 CEFR A1レベル, HyperListeing 3rd Edition Pre-Intermediate ディクテーションノート付き (桐原書店), ハンドアウト,					
担当教員	安部 剛,鳥羽 素子					
到達目標						
(1)日常生活の身近な表現や幅広い話題について情報や考えを理解することができるように、リスニング力を向上させる。 (2)「聞く」だけでなく「話す」「書く」活動を通して英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができ、情報や自身の考えを適切に表現することができるよう言語運用能力を向上させる。 (3)CEFR A1レベルの英語表現や言い回しを理解し適切に用いることができる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)
評価項目1		日常で使われる英語表現や幅広い話題について細かな点まで正しく理解することができる。		日常で使われる英語表現や幅広い話題について正しく理解することができる。		日常で使われる英語表現や幅広い話題について正しく理解することができない。
評価項目2		英語によってコミュニケーションをとることができ、自分の意見や考えを積極的に述べることができる。		英語によってコミュニケーションをとることができ、自分の意見や考えを述べることができる。		英語によるコミュニケーションに困難を感じ、自分の意見や考えを積極的に述べることができない。
評価項目3		CEFR A1レベルの英語表現と言い回しをしっかりと習得している。		CEFR A1レベルの英語表現と言い回しを習得している。		CEFR A1レベルの英語表現と言い回しを習得できていない。
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	日常生活の身近な表現や幅広い話題について情報や考えを理解することができるように、リスニング力の向上を図る。また、「話す」「書く」の言語活動を通して英語を用いて積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育成し、情報や自身の考えを適切に表現することができるよう言語運用能力を向上させる。					
授業の進め方・方法	様々な話題の音声教材を用いて演習を行い、英語の聴解力を向上させる。ペアワーク・グループワーク、プレゼンテーションを通じて英語で自己表現する機会を多く与える。英語表現やフレーズの定着に関してはCEFR A1レベルのテキストを用いて、小テストを実施することで定着を確認する。					
注意点	「Step by Step4Skills1 CEFR A1レベル」のテキストについて、各ユニットの1-2については課題として小テストで語彙表現の確認をする。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	新入生英語テスト実施 ダンス		ガイ	新入生英語テストを受ける。授業の進め方を把握する。
		2週	リスニングとライティング確認テスト Hyper Listening Lesson1 (描写), ハンドアウト1表現演習 (Getting to know your classmates)			入学時のリスニングのレベルを確認する。英語で初歩的な聞き取りができる。英語による簡単な質問を理解し、自分自身のことを相手に適切に表現することができる。
		3週	Hyper Listening Lesson2(会話1), ハンドアウト1表現演習 (Getting to know your classmates), Step by Step1Unit1-Listening, Speaking, Writing			英語で初歩的な聞き取りができる。英語による簡単な質問を理解し、英語で適切に表現することができる。ライティング (主張・根拠・具体例・結論) の書き方を学び、自分の考えを述べることができる。
		4週	Hyper Listening Lesson3(アナウンス), Step by Step1Unit1 Listening, Speaking, Writing, 語彙表現小テスト1			英語で初歩的な聞き取りができる。英語による簡単な質問を理解し、英語で適切に表現することができる。ライティング (主張・根拠・具体例・結論) の書き方を学び、自分の考えを述べることができる。高校1年生程度の語彙表現の知識を持つ。
		5週	プレゼンテーション1 (about yourself)			既習表現を用いて、人前で自分自身について英語で発表型プレゼンテーションができる。
		6週	ハンドアウト2表現演習 (Talking about music), Step by Step1 Unit2-Listening, Speaking, Writing			英語で初歩的な英会話の聞き取りができる。英語による簡単な質問を理解し、英語で他者とコミュニケーションをとることができる。
		7週	ハンドアウト2表現演習 (Talking about music), Step by Step1 Unit2-Listening, Speaking, Writing			英語で初歩的な英会話の聞き取りができる。英語による簡単な質問を理解し、英語で他者とコミュニケーションをとることができる。
		8週	語彙表現小テスト2 , Review Session			高校1年生程度の語彙表現の知識を持つ。前期中間試験までの学習内容を理解することができる。
	2ndQ	9週	前期中間試験			前期中間期の学習習熟度を確認する。
		10週	試験返却・解説, Hyper Listening Lesson8(プレゼンテーション), Handout3(Thinking about food waste)表現演習			英語によるプレゼンテーションの内容を理解することができる。リスニングのないように興味・関心をもって、同様のテーマに関して英語で表現できるようにグループで英語活動に取り組むことができる。
		11週	Hyper Listening Lesson,6(電話での表現), Handout3(Think about food waste)表現演習			電話のやりとりを聞いて、電話で用いられる表現を理解することができる。説得型プレゼンテーションの形を理解し、グループ内で英語活動に取り組むことができる。
		12週	Hyper Listening Lesson 7 (留守番電話のメッセージ), Step by Step1 Unit3-Listening, Speaking, Writing			簡単な英会話を聞いて必要な単語を聞き取り、大まかな内容を理解することができる。ライティング (主張・根拠・具体例・結論) の書き方を学び、自分の考えを述べることができる。

		13週	Step by Step1 Unit3-Listening, Speaking, Writing,語彙表現小テスト3	ライティング（主張・根拠・具体例・結論）の書き方を学び、自分の考えを述べることができる。高校1年生程度の語彙表現の知識を持つ。
		14週	グループプレゼンテーション2(about food waste), Handout4(talking about vacation)	グループで英語で説得型プレゼンテーションができる。夏休みの予定について英会話を聞きとることができる。自分の予定についても他者に伝えることができる。
		15週	Handout4(talking about vacation), Review Session	夏休みの予定について英会話を聞きとることができる。自分の予定についても他者に伝えることができる。前期末試験までの学習内容を理解することができる。
		16週	期末試験	前期末期の学習習熟度を確認する。
後期	3rdQ	1週	Hyper Listening Lesson11(ガイダンス), Handout5(Taking about most livable cities in the world)	身近な話題についての英語を聞き、要点を理解することができる。簡単な英語のニュースを聞きとることができる。聞き取った話題をもとに他者と英語によるコミュニケーションを取ることができる。
		2週	Hyper Listening Lesson12(スピーチ) Step by Step1 Unit4-Listening, Speaking, Writing	身近な話題についての英語を聞き、要点を理解することができる。ライティング（主張・根拠・具体例・結論）の書き方を学び、自分の考えを述べることができる。
		3週	Hyper Listening Lesson1 3(道案内), Handout5(Talking about most livable cities in the world), Step by Step1 Unit4-Listening, Speaking, Writing,	身近な話題についての英語を聞き、要点を理解することができる。他者と英語によるコミュニケーションを取ることができる。ライティング（主張・根拠・具体例・結論）の書き方を学び、自分の考えを述べることができる。
		4週	Hyper Listening Lesson1 4(会話 応答表現, Step by Step1 Unit5-Listening, Speaking, Writing, 語彙表現小テスト4	身近な話題についての英語を聞き、要点を理解することができる。高校1年中期程度の語彙表現の知識を持つ。
		5週	プレゼンテーション3 (about our favorite country)	準備した原稿をもとに、人前で自分の意見について英語で発表型プレゼンテーションができる。
		6週	Step by Step1 Unit5-Listening, Speaking, Writing,	ある話題について英語で自分の意見や考えを述べることができる。
		7週	Review Session, 語彙表現小テスト5	ある話題について英語で自分の意見や考えを述べることができる。高校1年中期程度の語彙表現の知識を持つ。
		8週	後期中間試験	後期中間期の学習習熟度を確認する。
	4thQ	9週	Hyper Listening Lesson1 5(インタビュー), Handout6(Taling about the Internet) 表現演習	日常で使われる英語表現を聞き取り、理解できる。英語で自分の思いや意見を他者に述べることができる。
		10週	Hyper Listening Lesson1 7(図表), Handout6(Taling about the Internet) 表現演習	日常で使われる英語表現を聞き取り、理解できる。英語で自分の思いや意見を他者に述べることができる。
		11週	Hyper Listening Lesson1 8(ショッピング), Unit6-Listening, Speaking, Writing,	日常で使われる英語表現を聞き取り、理解できる。ライティング（主張・根拠・具体例・結論）の書き方を学び、自分の考えを述べることができる。
		12週	Hyper Listening Lesson1 9(ニュース) Unit6-Listening, Speaking, Writing,語彙表現小テスト6	英語のニュースを聴き取ることができる。ライティング（主張・根拠・具体例・結論）の書き方を学び、自分の考えを述べることができる。
		13週	Handout7(Talking about future plan) 表現演習	自分自身の将来の夢や職業について英語で考えを述べることができる。
		14週	プレゼンテーション4 (about advantages & disadvantages of SNS)	グループで英語で説得型プレゼンテーションができる。
		15週	Review Session, リスニングとライティング確認テスト	後期末までの学習内容を理解することができる。1年修了時のリスニングのレベルを確認する。
		16週	学年末試験	後期末期の学習習熟度を確認する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
	実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2				

人文·社会科学

評価割合				
	試験	小テスト・発表	提出物	合計
総合評価割合	30	0	10	40
評価項目(1)	22.5	0	4	4
評価項目(2)	30	7.5	3	33
評価項目(3)	22.5	7.5	3	3